

公益財団法人日本精神衛生会

令和5年度 事業報告書

事業の概要

令和5年度は、次の事業を実施した。

1. フォーラム「メンタルヘルスの集い(第38回日本精神保健会議)」の開催

今年度は、「メディアとメンタルヘルス～伝える、受け取る～」をテーマに、東京有楽町の朝日ホールで対面にて開催した。

メディアは社会に対して大きな影響力を持ち、社会全体のメンタルヘルスにも影響を与え、その向上のために重要な役割を果たしている。しかし一方で、精神障害を抱えるマイノリティに対する偏見や差別を固定化し、さらに助長することもある。今回のメンタルヘルスの集いではメディアに関わる様々な立場の発表者にそれぞれの課題や思いを率直に語ってもらい、人々がメディアとどのように関わっていくか、それによって何が実現されるのかを考えることとし、以下のような内容で実施した。

本フォーラムは林直樹理事が準備委員長となり、市川宏伸、大塚淳子の両理事に、外部から勝又陽太郎(東京都立大学)、木原育子(東京新聞)、山田奈緒(毎日新聞)の各氏が準備委員として参加し企画した。

なお、本フォーラムは「令和5年度健康や命を守る医療に関する普及啓発活動」として、公益財団法人JKAより競輪補助事業の公益資金の補助を受けて実施した。

メンタルヘルスの集い(第38回日本精神保健会議)

日時：令和6年3月2日(土) 10:30～16:00

テーマ：メディアとメンタルヘルス～伝える、受け取る～

内容：特別講演「『自己表現』で目指す精神障害のある人の生きづらさや社会的抑圧からの解放」

原義和(映像ジャーナリスト、映画「夜明け前のうた」監督)

シンポジウム「メディアと私たち：伝える、受け取る」

「自殺対策に関わる立場から」

勝又陽太郎(東京都立大学人文社会学部准教授)

「新聞報道、取材記者の立場から」

木原育子(東京新聞編集局特別報道部記者)

「支援者の立場から」

北野陽子(NPO法人ふるすあるは代表)

「精神障害者家族の立場から」

岡田久実子（全国精神保健福祉会連合会理事長）

コーディネーター

林直樹（西ヶ原病院）

山田奈緒（毎日新聞社会部記者）

参加者：128名

なお、このフォーラムの内容は本会の広報誌「心と社会」196号（令和6年6月15日発行）に収録する。

2. 精神保健シンポジウムの開催

全国の主要都市において、その地域の大学や精神保健福祉関連団体等と共催で、地域が直面する精神保健に関する課題等をテーマにシンポジウムを開催しており、今年度は下記のとおり実施した。

● 79回精神保健シンポジウム（群馬）

日時：令和5年7月8日（土）13：00～16：30

会場：群馬大学医学部 基礎中講堂

共催：群馬大学大学院医学系研究科 神経精神医学教室

後援：群馬県 群馬県教育委員会 群馬県精神保健福祉協会

テーマ：連携で支えるユース・メンタルヘルス

内容：基調講演

「ユース・メンタルヘルス支援—人生に伴走する価値精神医学」

福田正人（群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学教授）

現場からの実践報告

① 学校保健室から

吉田真弓（群馬県立高崎女子高等学校養護教諭）

② 小児科医療から

堀越隆伸（群馬大学医学部附属病院小児科）

③ 精神科医療から

藤平和吉（群馬大学医学部附属病院精神科神経科）

シンポジウム「連携で支える

—何を(what),なぜ(why),どのように(how)」

吉田真弓（群馬県立高崎女子高等学校養護教諭）

堀越隆伸（群馬大学医学部附属病院小児科医師）

吉野満由美（昭和村立南小学校校長）

宇部弘子（日本体育大学児童スポーツ教育学部准教授、公認心理士、SC）

霜田浩信（群馬大学共同教育学部教授）

座長 藤平和吉（群馬大学医学部附属病院精神科医師）

まとめ 滝沢琢己（群馬大学大学院医学系研究科小児科学教授）

参加者 94名

なお、このシンポジウムの内容は本会の広報誌「心と社会」194号（令和5年12月15日発行）に収録した。

3. 広報誌「心と社会」の発行

今日の精神保健福祉が直面する重要課題を取り上げるとともに、国内や海外の精神保健福祉に関する最新情報を掲載した広報誌「心と社会」を次のとおり発行した。

- ① 192号（令和5年6月15日発行） A5判152頁 2000部
特集 第37回メンタルヘルスの集い
情報とメンタルヘルス
～SNSの負の側面と適切な利用を考える～
- ② 193号（令和5年9月15日発行） A5判118頁 2000部
特集 芸術療法の今
- ③ 194号（令和5年12月15日発行） A5判152頁 2000部
特集 第79回精神保健シンポジウム（群馬）
連携で支えるユース・メンタルヘルス
- ④ 195号（令和6年3月15日発行） A5判136頁 2000部
特集 認知行動療法の今

4. 精神保健福祉関係冊子の出版

昨年度より林直樹理事が編集委員長となり、高塚雄介理事の他に、外部から小泉典章（長野大学名誉教授）、堀有伸（ほりメンタルクリニック）、宮地尚子（一橋大学）を編集委員に迎え、こころの健康シリーズIXとして刊行を開始した「現代の災害とメンタルヘルス」のNo.5～No.8（各B5判8頁）を以下のように発行した。なお、発行後はホームページに掲載し閲覧できるようにした。

- ① No.5 災害支援の体験から Build Back Better(より良い復興)と
Post-Traumatic Growth(心的外傷後成長)について思っていること
長野大学客員教授 小泉典章 著
令和5年6月発行 2000部
- ② No.6 原発事故とコミュニティの混乱について
ほりメンタルクリニック 堀有伸 著
令和5年9月発行 2000部
- ③ No.7 大規模災害の支援者への支援について
兵庫県こころのケアセンター 大澤智子 著
令和5年12月発行 2000部

④ No. 8 サイコロジカル・ファーストエイドについての
一般の人々の理解を深めるための解説

国立精神・神経医療研究センター 大沼麻実 著

令和6年3月発行 2000部

5. メールマガジンの発行

当会の活動や関連イベント、精神保健に関わる内外の動向などを発信するメールマガジン「日本精神衛生会こころのメルマガ」を林直樹理事のもと作成し、メールマガジン登録者へ配信した。

第3号（令和5年 4月7日発行） 配信数438

第4号（令和5年 7月5日発行） 配信数444

第5号（令和5年11月2日発行） 配信数470

第6号（令和6年 2月1日発行） 配信数477

6. 公益社団法人日本精神保健福祉連盟の一員として、国内の精神保健福祉諸団体と精神保健福祉の推進に協力した。また、広報誌「心と社会」の海外ニュース欄にて世界の精神保健関連情報を紹介した。